



機能モードの設定

このモジュールでは、Cisco VG224 アナログ電話ゲートウェイや Cisco Integrated Services Router (ISR; サービス統合型ルータ) などの Cisco 音声ゲートウェイ上にあり、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) によって制御される、アナログ Foreign Exchange Service (FXS) ポートに対して、 Skinny Client Control Protocol (SCCP) 機能モードのコール制御モードをイネーブルにする方法について説明します。

このモジュール内の機能情報の検索

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースが、このモジュールで説明している機能の一部をサポートしていない場合があります。このモジュール内に記載されている特定の機能のリンクにアクセスする場合、および各機能がサポートされているリリースのリストを参照する場合は、「[Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モード機能の機能情報](#)」(P.112) を参照してください。

プラットフォーム、および Cisco IOS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索するには

プラットフォームのサポートと、Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

目次

- 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの設定に関する前提条件」(P.102)
- 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの制約事項」(P.102)
- 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードについて」(P.103)
- 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの設定方法」(P.106)
- 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの設定例」(P.110)
- 「参考資料」(P.110)
- 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モード機能の機能情報」(P.112)

Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの設定に関する前提条件

Cisco IOS ゲートウェイ

- Cisco IOS Release 12.4(6)XE 以降のリリース。
- Cisco 音声ゲートウェイの動作がセットアップおよび設定されていること。詳細については、シスコの該当する設定マニュアルを参照してください。
- アナログ FXS 音声ポートの動作がセットアップおよび設定されていること。詳細については、『[Cisco IOS Voice Port Configuration Guide](#)』を参照してください。
- Cisco 音声ゲートウェイで SCCP および SCCP Telephony Control (STC) アプリケーションがイネーブルになっていること。詳しい設定手順については、「[基本コールのための FXS ポートの設定](#)」(P.29) を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager のアナログ エンドポイント

- Cisco Unified Communications Manager 4.2 以降のバージョン。
- Cisco Unified Communications Manager に電話機が追加され、設定されていること。『[Cisco Unified Communications Manager Administration Guide](#)』の「Call Routing Configuration」にある「Directory Number Configuration」の章と、「Device Configuration」にある「Gateway Configuration」の章を参照してください。

Cisco Unified CME のアナログ エンドポイント

- Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョン。
- アナログ エンドポイント用の Ephone の設定と機能パラメータが Cisco Unified CME で設定されていること。詳細については、『[Cisco Unified CME Administration Guide](#)』を参照してください。
- Cisco Unified CME のアナログ エンドポイントでコール転送を使用するには、Cisco ルータで、**transfer-system** コマンドを full-consult に設定します。設定情報については、『[Cisco Unified CME Administration Guide](#)』の「[Configuring Call Transfer and Forwarding](#)」モジュールを参照してください。

次の例は、コール転送方式として完全打診を設定する方法を示しています。

```
Router(config)# telephony-service
Router(config-telephony)# transfer-system full-consult
```

- Cisco Unified CME 4.0 の Drop Last Party 機能の場合：
 - Cisco IOS Release 12.4(9)T 以降のリリース。
 - Cisco ルータで **keep-conference drop-last** コマンドがイネーブルになっていること。設定情報については、『[Cisco Unified CME Administration Guide](#)』の「[Configuring Conferencing](#)」モジュールを参照してください。

Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの制約事項

Cisco Unified CME のアナログ エンドポイント

- Cisco Unified Communications Manager からの Extensible Markup Language (XML) ダイアルピア コンフィギュレーション ファイルの TFTP ダウンロードを使用した自動設定はサポートされません。
- この機能は VIC2-2BRI-NT/TE ではサポートされていません

Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードについて

Cisco IOS 機能の SCCP FXS 用機能モードを設定するには、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「機能モードでサポートされる機能のまとめ」 (P.103)
- 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モード」 (P.104)

機能モードでサポートされる機能のまとめ

表 8 に、FXS ポートに接続されたアナログ電話機の機能モードでサポートされる SCCP 補足機能と、Cisco コール制御システムで各機能のサポートを設定する方法の説明と情報の一覧を示します。



(注) Cisco Unified CME の個々のコマンドについては、『[Cisco Unified CME Command Reference](#)』を参照してください。

表 8 機能モード：サポートされる補足機能

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
コール転送 電話機ユーザがダイヤルする第三者にコールを接続します。	基本コールモードのユーザはフックフラッシュを押し、最初のダイヤルトーンを聞いてから、内線番号をダイヤルすると 2 番目のコールに接続されます。2 番目のコールが確立されたときに、ユーザはフックフラッシュを押し、機能トーンを聞いてから、#2 をダイヤルして、コールを転送します。コールの転送後は、ユーザに音が聞こえなくなります。	Cisco Unified Communications Manager 機能情報については、『 Cisco Unified Communications Manager System Guide 』の「Dial Plan Architecture」にある「Understanding Directory Numbers」の章の「Making and Receiving Multiple Calls Per Directory Number」の項を参照してください。 Cisco Unified CME 設定については、『 Cisco Unified CME Administration Guide 』の「 Configuring Call Transfer and Forwarding 」を参照してください。
電話会議 3 者間会議を開始します。	基本コールモードのユーザはフックフラッシュを押し、最初のダイヤルトーンを聞いてから、内線番号をダイヤルすると 2 番目のコールに接続されます。2 番目のコールが確立されたときに、ユーザはフックフラッシュを押し、機能トーンを聞いてから、#3 をダイヤルして、3 者間会議を開始します。	Cisco Unified Communications Manager 機能情報については、『 Cisco Unified Communications Manager System Guide 』の「Media Resources」にある「Conference Bridges」の章の「Initiating an Ad Hoc Conference Bridge」の項を参照してください。 Cisco Unified CME 設定については、『 Cisco Unified CME Administration Guide 』の「 Configuring Conferencing 」を参照してください。

表 8 機能モード：サポートされる補足機能（続き）

機能	電話ユーザが機能にアクセスする方法	コール制御システムの設定
最後の会議参加者のドロップ	<p>Cisco Unified Communications Manager</p> <p>3 者間会議が確立された後に再びフックフラッシュを押すと、最後の会議参加者がドロップされます。</p> <p>Cisco Unified CME</p> <p>3 者間会議中に、ユーザはフックフラッシュを押し、機能トーンを聞いてから #4 をダイヤルすると、最後のアクティブな通話相手がドロップされます。会議は、2 番目の通話相手に対する基本コールになります。</p>	Cisco コール制御システムでの追加設定は不要です。
最後のコールの切断	<p>3 者間会議中に、ユーザはフックフラッシュを押し、機能トーンを聞いてから #1 をダイヤルすると、最後のアクティブな通話相手がドロップされます。会議は、基本コールになります。</p>	<p>Cisco Unified Communications Manager</p> <p>Cisco コール制御システムでの追加設定は不要です。</p> <p>Cisco Unified CME</p> <p>Cisco ルータで keep-conference drop-last コマンドがイネーブルになっていること。設定情報については、『<i>Cisco Unified CME Administration Guide</i>』の「Configuring Conferencing」モジュールを参照してください。</p>
コール間の切り替え	<p>基本コールモードのユーザはフックフラッシュを押し、最初のダイヤルトーンを聞いてから、内線番号をダイヤルすると 2 番目のコールに接続されます。2 番目のコール中にユーザはフックフラッシュを押し、機能トーンを聞いてから #5 をダイヤルすると、以前の通話相手に戻ります。</p>	Cisco コール制御システムでの追加設定は不要です。

Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モード

Cisco IOS Release 12.4(6)XE 以降のリリースでは、Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードによって、Cisco 音声ゲートウェイのアナログポートに拡張コール制御モード機能が提供されます。Cisco IOS Release 12.4(6)XE よりも前のリリースでは、SCCP アナログゲートウェイは、標準ベルコア機能を提供するデフォルトのテレフォニーモードである、標準モード機能のアクティベーションだけをサポートしていました。

Cisco 音声ゲートウェイで機能モードをイネーブルにすると、アナログ FXS ポートを通じたコールは、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified CME によって制御され、基本コールは SRST モードでサポートされます。Cisco 音声ゲートウェイの SCCP Telephony Control (STC; SCCP テレフォニー制御) アプリケーションは、Cisco コール制御システムと音声ゲートウェイの間のコール制御メッセージを変換するためのプロキシとして機能します。

機能モードでは、ユーザは、プレフィクスと #1 などの機能コードから構成される Feature Access Code (FAC; 機能アクセスコード) と呼ばれる特定の番号の組み合わせを入力します。機能モードでの FAC のプレフィクスはシャープ (#) です。標準モードでは、ユーザはフックフラッシュを使用して、コール転送や電話会議のような補足機能をアクティブ化します。

機能モードは、発信コールだけに制限されています。すべての機能モードの機能は、2 番目のコールが確立された後に実行されます。基本コールモードのユーザはフックフラッシュを実行し、最初のダイヤル トーンを聞いてから、内線番号をダイヤルすると 2 番目のコールに接続されます。2 番目のコールが確立されたときに、ユーザはフックフラッシュを実行し、機能トーン（機能モードを示すために使用される特殊なダイヤル トーン）を聞いてから、FAC をダイヤルします。

表 9 に、機能モードだけでテレフォニー機能へのアクセスに使用される FAC のリストを示します。

表 9 機能モードでテレフォニー機能へのアクセスに使用される FAC

機能	FAC
最後のアクティブ コールのドロップ	#1
コール転送	#2
電話会議	#3
最後の会議参加者のドロップ	#4
2 つのコール間の切り替え	#5



(注)

機能モードと標準モードの両方で利用できる FAC と Feature Speed Dial (FSD; 機能短縮ダイヤル) のリストについては、「[FXS ポート用 SCCP 補足機能のまとめ](#)」(P.66) を参照してください。

機能モードの設定については、「[Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの設定方法](#)」(P.106) を参照してください。

機能モードでの柔軟な FAC

Cisco IOS Release 15.0(1)M よりも前のリリースでは、機能モードの FAC は 2 文字 (# と 1 ~ 5) に制限され、変更できませんでした。

Cisco IOS Release 15.0(1)M 以降のリリースでは、機能モードでサポートされる機能にアクセスする FAC を設定し、4 文字 (0 ~ 9、#、*) のストリングを作成できます。このストリングは、機能トーンが聞こえた後にキーパッドでダイヤルできます。機能モードのテレフォニー機能に対するデフォルトの FAC は、引き続きサポートされています。機能モードのデフォルト FAC については、表 9 を参照してください。

機能モードで別の FAC で設定済みの値に FAC を設定しようとした場合は、警告メッセージが表示されます。重複する FAC を設定した場合は、それぞれの FAC の値によって決定される優先順位で、一致する最初の機能が実装されます。

機能モードで別の FAC を除外している値、また別の FAC によって除外されている値に FAC を設定しようとした場合は、警告メッセージが表示されます。たとえば、123 という FAC を設定しようとして、12 がコール転送などの別の機能用に設定済みの場合は、次のメッセージが表示されます。

```
123 is precluded by call transfer(12)
```

または、1 を設定しようとして、12 がコール転送など別の機能用に設定済みの場合は、次のメッセージが表示されます。

```
1 precludes call transfer(12)
```

これらのメッセージは機能コードの設定を妨げるものではありません。

詳しい設定手順については、「[機能モードでの柔軟な FAC の設定](#)」(P.107) を参照してください。

機能モードのエラー処理

機能トーンが聞こえた後でユーザが何も行わなかった場合は、桁間タイムアウトに達し、速いビジー トーンが再生されます。以前の状態に戻るには、ユーザはフックフラッシュを再び押す必要があります。フックフラッシュ以外のユーザ入力は、速いビジー トーン中に受け入れられません。

ユーザが正しくない番号の組み合わせをダイヤルした場合は、速いビジー トーンが再生されます。以前の状態に戻るには、ユーザはフックフラッシュを実行する必要があります。

機能トーンが聞こえた後に、ユーザが受話器を置いた場合は、電話機でパワーリングバックが再生されます。ユーザが受話器を上げると、最初のコールに接続されます。

ユーザが次のいずれかのアクションを実行した場合、コールは転送されます。

- 機能トーンが聞こえた後、桁間タイムアウトに達する前に、受話器を置く。
- 機能トーンが聞こえた後、桁間タイムアウトに達し、速いビジー トーンが聞こえた後に、受話器を置く。
- 機能トーンが聞こえた後、不正確な番号を押した後、速いビジー トーンが聞こえる前に、受話器を置く。
- 機能トーンが聞こえた後、正確な番号の組み合わせを押し、速いビジー トーンが聞こえた後に、受話器を置く。

Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの設定方法

ここでは、次の作業について説明します。

- 「[機能モードの設定](#)」(P.106) (必須)
- 「[SCCP FXS ポート用の機能モードの設定に関するトラブルシューティング](#)」(P.107) (任意)
- 「[機能モードでの柔軟な FAC の設定](#)」(P.107) (任意)

機能モードの設定

Cisco 音声ゲートウェイの SCCP アナログ電話機に機能モードを設定し、SCCP アナログ電話機がフックフラッシュ後に標準 FAC を使用して機能呼び出せるようにするには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `stcapp call-control mode feature`
4. `end`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code> 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code> 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>stcapp call-control mode feature</code> 例： Router(config)# stcapp call-control mode feature	機能コール制御モードをイネーブルにします。
ステップ4	<code>exit</code> 例： Router(config-stcapp-fmcode)# exit	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

SCCP FXS ポート用の機能モードの設定に関するトラブルシューティング

コール制御モードを検証およびトラブルシューティングし、機能モードのコールのデバッグ情報を表示するには、次のコマンドを使用します。

- **show stcapp feature codes** : 機能アクセス コードを表示します。
- **debug voip application stcapp all** : 機能モードで構成される STC アプリケーション制御電話機のデバッグ メッセージを表示します。
- **debug voip application scapp port** : 指定したポートの STCAPP コンポーネントのデバッグ情報を表示します。
- **debug vpm signal** : PBX シグナリングなど、機能モードと標準モードのコールに対するシグナリング イベントの情報を表示します。

これらのコマンドについては、『[Cisco IOS Voice Command Reference](#)』または『[Cisco IOS Debug Command Reference, Release 12.4T](#)』、および『[Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference, Release 12.4](#)』を参照してください。

機能モードでの柔軟な FAC の設定

Feature Access Code (FAC; 機能アクセス コード) を定義し、機能モードでサポートされている機能を呼び出すには、次の手順を実行します。

前提条件

- Cisco IOS Release 15.0(1)M 以降のリリース。

制約事項

- 機能モードで複数の機能コードに対して同じ値を設定した場合は、優先順位で一致する最初の機能が実装されます。
- 機能モードで別の FAC を除外している値、または別の FAC によって除外されている値に FAC を設定した場合は、最も短い FAC の機能が最初に実装されます。除外された FAC は実装できません。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **stcapp call-control mode feature**
4. **conference keypad-character**
5. **hangup-last-active-call keypad-character**
6. **drop-last-conferee keypad-character**
7. **toggle-between-two-calls keypad-character**
8. **transfer keypad-character**
9. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	stcapp call-control mode feature 例： Router(config-stcapp-fmcode)# stcapp call-control mode feature	機能コール制御モードをイネーブルにし、STC アプリケーション機能コール制御コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	conference keypad-character 例： Router(config-stcapp-fmcode)# conference *	(任意) 3 者間会議を開始するために使用するコードを設定します。 • <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。 <i>keypad-character</i> の長さは 1 ~ 4 文字 (0-9、#、*) にする必要があります。デフォルト値は #3 です。

コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5 <code>drop-last-conferee keypad-character</code> 例 : <pre>Router(config-stcapp-fmcode) # drop-last-conferee 44</pre>	(任意) 3 者間会議中に、最後のアクティブ コールをドロップするために使用するコードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。<i>keypad-character</i> の長さは 1 ~ 4 文字 (0-9、#、*) にする必要があります。デフォルト値は #4 です。 • Cisco ルータで、keep-conference drop-last コマンドをイネーブルにする必要があります。
ステップ 6 <code>hangup-last-active-call keypad-character</code> 例 : <pre>Router(config-stcapp-fmcode) # hangup-last-active-call 11</pre>	(任意) 3 者間会議中に、最後のアクティブ コールをドロップするために使用するコードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified CME によって制御される電話機の場合。このコマンドは、Cisco Unified Communications Manager によって制御される電話機でのユーザ環境に影響を与えません。 • <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。<i>keypad-character</i> の長さは 1 ~ 4 文字 (0-9、#、*) にする必要があります。デフォルト値は #1 です。
ステップ 7 <code>toggle-between-two-calls keypad-character</code> 例 : <pre>Router(config-stcapp-fmcode) # toggle-between-two-calls 55</pre>	(任意) 2 つのアクティブ コール間の切り替えに使用するコードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。<i>keypad-character</i> の長さは 1 ~ 4 文字 (0-9、#、*) にする必要があります。デフォルト値は #5 です。
ステップ 8 <code>transfer keypad-character</code> 例 : <pre>Router(config-stcapp-fmcode) # transfer ##</pre>	(任意) 電話機ユーザがダイヤルし、第三者にコールを接続するために使用するコードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>keypad-character</i> : 電話機のキーパッドでダイヤルできるストリング。<i>keypad-character</i> の長さは 1 ~ 4 文字 (0-9、#、*) にする必要があります。デフォルト値は #2 です。
ステップ 9 <code>end</code> 例 : <pre>Router(config-stcapp-fmcode) # end</pre>	STC アプリケーション機能アクセス コード コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

例

次に、機能モードでサポートされる補足機能の機能コードの値を、デフォルトから変更する方法の例を示します。

```
Router(config)# stcapp call-control mode feature
Router(config-stcapp-fmcode) # conference 33
Router(config-stcapp-fmcode) # drop-last-active-conferee 44
Router(config-stcapp-fmcode) # hangup-last-active-call 11
Router(config-stcapp-fmcode) # toggle-between-two-calls 55
Router(config-stcapp-fmcode) # transfer 22
Router(config-stcapp-fmcode) # exit
Router(config)#
```

Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの設定例

次に、イネーブルになった機能コール制御モードの例を示します。

```
Router# show running-config
.
.
.
stcapp call-control mode feature
!
```

次に、イネーブルになった標準コール制御モードの例を示します。

```
Router# show running-config
.
.
.
stcapp call-control mode standard
!
```

参考資料

ここでは、Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モード機能に関連する資料を示します。

関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified Communications Manager の相互運用性	『Cisco Unified CallManager and Cisco IOS Interoperability Guide』
Cisco Unified Communications Manager	『Cisco Unified Communications Manager System Guide』
Cisco Unified Communications Express	『Cisco Unified CME Administrator Guide』
Cisco IOS のデバッグ	『Cisco IOS Debug Command Reference』
Cisco IOS の音声のコマンド	『Cisco IOS Voice Command Reference』
Cisco IOS の音声のコンフィギュレーションガイド	『Cisco IOS Voice Configuration』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none">・テクニカル サポートを受ける・ソフトウェアをダウンロードする・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける・ツールおよびリソースへアクセスする<ul style="list-style-type: none">- Product Alert の受信登録- Field Notice の受信登録- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する・トレーニング リソースへアクセスする・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</p>

Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モード機能の機能情報

表 10 に、このモジュールで説明した機能をリストし、特定の設定情報へのリンクを示します。この表には、Cisco IOS Release 12.4(6)XE 以降のリリースで導入または変更された機能だけを示します。

このテクノロジーの機能でここに記載されていない情報については、「[補足サービスの機能ロードマップ](#)」(P.13) を参照してください。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースでは、一部のコマンドが使用できない場合があります。特定のコマンドのリリース情報については、コマンドリファレンスマニュアルを参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator を使用すると、特定のソフトウェア リリース、機能セット、またはプラットフォームをサポートする Cisco IOS と Catalyst OS のソフトウェア イメージを判別できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスしてください。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 10 に、特定の Cisco IOS ソフトウェア リリース群で特定の機能をサポートする Cisco IOS ソフトウェア リリースだけを示します。特に明記されていない限り、Cisco IOS ソフトウェア リリース群の後続のリリースでもこの機能をサポートします。

表 10 Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モード機能の機能情報

機能名	リリース	機能情報
Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モード	12.4(6)XE 12.4(11)T	<p>Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified CME によって制御される、Cisco 音声ゲートウェイにあるアナログ FXS ポートの機能モードのコール制御をイネーブルにします。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードについて」(P.103) 「Cisco IOS の SCCP FXS ポート用の機能モードの設定方法」(P.106) <p>次のコマンドが、この機能によって導入または変更されました。debug voip application stcapp all、debug voip application stcapp port、show stcapp feature codes、stcapp call-control mode</p>
機能モードでの柔軟な FAC	15.0(1)M	<p>機能モードでサポートされる補足機能にアクセスするための、設定可能な Feature Access Code (FAC) を利用できます。</p> <p>次の項で、この機能に関する情報を参照できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「機能モードでの柔軟な FAC」(P.105) 「機能モードでの柔軟な FAC の設定」(P.107) <p>次のコマンドが、この機能によって導入または変更されました。conference、drop-last-conferee、hangup-last-active-call、toggle-between-two-calls、transfer</p>